

2016年2月18日

東京大学
サノフィ株式会社

東京大学とサノフィ株式会社 創薬共同研究における戦略的パートナーシップ契約を締結

- 革新的な新薬創出に向け産学連携を推進 -

東京大学(所在地:東京都文京区本郷、総長:五神 真)とサノフィ株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:ファブリス・バスキエラ、以下「サノフィ」)は、このほど創薬共同研究における戦略的パートナーシップ契約を締結しましたのでお知らせいたします。本契約により、基礎的な学術研究の成果を効率的かつ迅速に医薬品開発に向けた応用研究へと進めることにより、日本発の革新的な新薬の創出が期待されます。

東京大学は、医学領域を始めとしてさまざまな分野で革新的な新薬開発に結び付く最先端の研究を進めています。サノフィ・グループは、がん、糖尿病、ワクチン、希少疾患などの医薬品の開発に取り組んでおり、多様な疾患領域における創薬に関する知見および技術を有します。本契約により、東京大学で発見される新規の創薬ターゲットや疾患メカニズムと、サノフィ・グループの創薬プラットフォームおよびグローバルネットワークを組み合わせることで、日本だけでなく世界の患者さんへ新薬を提供することを目指します。

本契約締結により期待されることは、以下の通りです。

- 東京大学トランスレーショナル・リサーチ・イニシアティブ(注1、以下「TR機構」)が保有する「Research Mapping System」(注2)にサノフィがアクセスすることにより、創薬シーズの応用展開を促進する。
- 東京大学の研究者とサノフィ研究者との情報交換を通して産学連携を推進し、革新的な新薬を創出する。
- 両者による共同研究プロジェクトを通じて創出された新薬を、サノフィ・グループのグローバルネットワークを通じて、日本だけでなく世界の患者さんに提供する。

東京大学TR機構長の齊藤延人 医学部附属病院長は、次のように述べています。「東京大学はTR機構を中心として大学発の研究成果を医療の分野に応用し、医療イノベーションを世に提供することを大きな目的としています。この度サノフィと創薬共同研究における戦略的パートナーシップ契約を結ぶことにより、未解決な問題が山積する医療分野のチャレンジに対して効果的な取り組みができるようになったことは私たちにとって大変喜ばしいことです。本契約締結下で進められる共同研究の数々が確実に成果を出し、未だに多くの疾患に苦しむ世界の患者さんに新しい治療オプションを提供できることを期待します。」



サノフィの佐藤裕史 研究開発部門長は、次のように述べています。「サノフィはオープンイノベーションを推進し、革新的な医学研究を効果的な治療薬に結び付ける活動に積極的に取り組んでいます。2015年3月に東京大学とサノフィが締結した炎症性疾患およびがん領域における共同研究契約に加え、本契約を通じて、サノフィ・グループのグローバルR&Dネットワークの下、更なる産学連携による先進的な医薬品の開発に取り組んでいきます。」

(注1) 東京大学トランスレーショナル・リサーチ・イニシアティブ (TR機構) : 東京大学総長総括室の下に平成19年に設立された。東京大学の医療関連のトランスレーショナル・リサーチ全般にわたり実用化への橋渡しを推進する業務を行っている。TR機構の組織や活動、さらにはリサーチマッピングシステムについての詳細は、以下のURLをご参照ください。

<http://plaza.umin.ac.jp/tri-u-tokyo/>

(注2) **Research Mapping System**: リサーチマッピングシステムには、東京大学の生命科学関連研究の研究者と研究内容が登録・データベース化されています。研究者プロフィールおよび研究内容ごとのプロフィールがシステム上で表示されるだけでなく、個々の研究が任意の二つの属性で作られるマトリックスに表示されます。これにより目的とする属性の組み合わせに合致する研究を容易に拾い上げる事が可能です。属性とは、疾患領域、作用標的分子、研究ステージ、パテント状況等を指します。

以上